

第2回『ミマモリングソフト』ウェビナー 実践発表園のお知らせ

第228号 2021年7月12日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていくよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

実践発表園のお知らせ

5月に開催しました、第2回「ミマモリングソフト」ウェビナーに
ご参加頂いた園の中から、今回、東京都のさかいりんごの木保育園、
新宿こだま保育園、熊本県の新明保育園の実践発表が決まっています。

今回は、先生方に前編のワークショップで取り組んだ内容について
写真等を交えて、実践発表をして頂く予定です。

東京都 さかいりんごの木保育園【発表内容】

表現領域：保育者と一緒に様々な色彩や形のものや絵本などを見る。

水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。

生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに
気付いたり、感じたりして楽しむ。

健康領域：保育者の手助けを受けながら、衣服を自分で着脱する。

東京都 新宿こだま保育園【発表内容】

環境領域：日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。

熊本県 新明保育園【発表内容】

環境領域：身の回りの小動物、植物、事物などに触れ、それらに興味、
好奇心を持ち、探索や模倣などをして遊ぶ。

「ミマモリングソフト」を活用している園の方を対象にしていますが、
実践発表後には、竹取新聞やこちらのメールマガジンでも内容の
ご報告を予定しています。

子どもが子どもらしく発達する事を邪魔しない。

